

「地域の砂防情報アーカイブ」運営会議の開催について ～土砂災害 啓発・伝承プロジェクト～

1 要旨・目的

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環である「土砂災害啓発・伝承プロジェクト」の取組、「地域の砂防情報アーカイブ」に登録する情報の判定・調整を行う「地域の砂防情報アーカイブ」運営会議の開催について報告する。

2 現状・背景

土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とし、「啓発」、「防災教育」、「伝承」を3本の柱として「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。

このうち、「伝承」に関する取組として、土砂災害に関する貴重な写真等の資料を記録し、土砂災害の記憶を次世代に語り継ぎ、地域防災力の向上に役立てていただくことを目的に、平成23年度より「地域の砂防情報アーカイブ」として運用開始し、広島県ホームページで登録された資料を公開している。令和6年度までに登録されている資料の数は2,634点におよび、防災教育の教材のほか、地域の災害伝承の取組を支援する資料として活用している。

登録する写真等は有識者等からなる「地域の砂防情報アーカイブ」運営会議において審査の上で決定している。今年度も過去の災害写真等の資料を多数提供頂いている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

「地域の砂防情報アーカイブ」に登録する情報の審査を行うため、「地域の砂防情報アーカイブ」運営会議を次のとおり開催する。

今年度は過去の災害の被災状況について民間業者等から提供された貴重な写真等の資料約100点に加え、地域からの情報を基に整理した災害碑に関する資料13点について、本会議で審査した上で「地域の砂防情報アーカイブ」に追加する。

(ア) 日時

令和8年2月6日（金）14:30～17:00（予定）

(イ) 場所

広島県庁本館 106 会議室

(ウ) 内容

登録する写真等資料の審査

(エ) 出席者

氏名	所属・役職名等
海堀 正博	広島大学 名誉教授・特命教授 防災・減災研究センター 学術顧問
加藤 誠章	福山市立大学都市経営学部都市経営学科教授
原田 照美	広島市自主防災会連合会顧問
出来谷 規人	砂防ボランティア広島県協会長
神田 昌吾	広島県土木建築局砂防課長

(3) スケジュール

「地域の砂防情報アーカイブ」運営会議による審査の結果、新たに「地域の砂防情報アーカイブ」に追加されることとなった過去の災害写真等資料は、令和8年3月下旬に県のホームページ上で公開する予定。

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 今後の対応

引き続き、「地域の砂防情報アーカイブ」の内容の充実を図りつつ、市町や地域とも連携して、この取組の周知や積極的な活用を推進する。これらにより、災害伝承を通じた地域防災力の向上を図るとともに、県民の土砂災害リスク認知度の向上につなげる。

4 その他（関連情報等）

「地域の砂防情報アーカイブ」ホームページ

<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx>

「地域の砂防情報アーカイブ」PR動画（youtube）

<https://www.youtube.com/shorts/tD3sa6y9ja8>

土砂災害対策への伝承の取り組み事例（地域の砂防アーカイブ等）



地域の砂防アーカイブ

地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する貴重な写真等を記録・公開し、土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、地域の防災意識の向上を図るため、平成23年度より県ホームページ上で「地域の砂防情報アーカイブ」を運用開始し、過去の災害写真や体験談等の資料を公開しています。

掲載する写真等は有識者からなる地域の砂防情報アーカイブ運営会議で審査の上、決定しています。

広島県(砂防課) 砂防情報の収集
県民
学識経験者等による情報の審査
審査済情報の登録
地域の砂防情報アーカイブ
登録情報の公開
災害伝承・防災教育への活用

地域と連携した災害伝承パネル展や小中学生に向けた砂防出前講座の教材資料として活用しています。

「キキミルAR」との連携
「キキミルAR」へ土砂災害記録（地域の砂防情報アーカイブ）表示機能搭載しました

PRの動画公開
砂防アーカイブPR動画(約40秒)
広島県 防災PR動画(約40秒)
災害を忘れないために
写真を集めています!

登録数の推移
R6年度 2,634

災害情報の記録・公開の一例
平成26年0.20土砂災害【広島市安佐南区】
堂々川6番砂留【福山市神辺町】

体験談集
土砂災害体験談集
戸山の6.29雷雨
平成11年6.29雷雨記録誌